

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 190-8517
 住 所 東京都立川市栄町6-1-1
 氏 名 株式会社 いなげや
 代表取締役社長

印

成瀬 直人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 いなげや		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市多摩区三田4-5548-1		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,951	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	社長室 環境担当
		所在地	東京都立川市栄町6-1-1
		電話番号	042-537-5287
		FAX番号	042-537-5070
		メールアドレス	0
※受付欄	※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成25年度～平成27年度 (報告年度 平成27年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取り組みについては、ホームページにて公表しております。 http://www.inageya.co.jp/company/activity/

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,329 (調) 4,318 t-CO ₂	(実) 4,560 (調) 4,551 t-CO ₂	(実) 4,579 (調) 4,571 t-CO ₂	(実) 5,334 (調) 5,324 t-CO ₂	(実) 4,286 (調) 4,275 t-CO ₂
削減率		(実) -5.3 (調) -5.4 %	(実) -5.8 (調) -5.9 %	(実) -23.2 (調) -23.3 %	(実) 1.0 (調) 1.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積×営業日数		単位	t-CO ₂ /千坪×日	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	2.653	2.790	2.802	2.156	2.574
削減率		-5.2 %	-5.6 %	18.7 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	<ul style="list-style-type: none"> 平均最高気温の対比として、6月は+1.3℃・7月は+1℃・8月は+0.3℃と猛暑日が続き、冷設負荷が高くなったため、排出量としてオーバーしてしまった。 川崎市内の8店舗中4店舗の売場ゾーニングを行い、冷蔵設備の増加による影響が考えられます。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> 大型改造店舗があり、冷蔵設備の増加があったため、エネルギーの増加に繋がってしまいました。また、2014年4月より子会社であった惣菜の「クックサン」がいなげやに統合されたため、原単位の延べ床面積の変化は無かったが、エネルギーは合算して増加したために、結果として原単位は5.8%増加となった。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新店2店舗出店、閉店1店舗であった、新店のうち1店舗では高効率のGHP空調機を導入、これにより特に電気使用量は大幅に削減できた。また新店舗は、冷蔵設備をはじめ高効率の設備を導入したことにより、全体での原単位では基準年度に対して、18.7%削減する事に寄与しました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

<p>平成27年度に平成24年度比で1%の排出量削減目標であったが、目標に対しては逆に24%の増加になった、これは大型新店舗2店舗開店によるものが大きく関係したものです。 原単位で見ると大型新店舗での高効率機器導入で平成27年度に平成24年度比で3%の削減目標に対して、目標対比では16.2%削減できました。</p>
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<p>①管理標準の作成 空気調和設備、冷蔵・冷凍庫設備、冷蔵ケース、冷凍機設備、受変電・配電設備、昇降機(乗用)、昇降機(貨物用)の8つの設備に「管理標準」を設定し、順次店舗を回り計測・記録保守を実施</p> <p>②各設備に対するの対策 設備台帳を作成し、「管理標準」をもとに主要設備に対し順次、省エネタイプの機器への入れ替えを検討していく。</p>
	第1年度	<p>①の管理標準は作成完了、計測記録中。</p> <p>②については改装店舗から順次入替えを実施予定、川崎中野島店については平成25年度にLED照明に切り替え実施済み。</p>
	第2年度	<p>②については6店舗について、売場のLED化は終了しています。冷蔵・冷凍設備を主とする設備更新については検討中です。</p>
	第3年度	<p>・管理標準は作成完了し、記録保守を実施中です。また、LED照明への切り替えは一部売場も含めて、市内全店舗にて完了しております。</p> <p>・新規開店しました、川崎登戸店と新ゆりヨネッティー王禅寺前店においては、省エネ対応の冷蔵・冷凍設備を導入しております。川崎登戸店では高効率のGHP空調機を導入し、電気使用量を抑制しております。</p>
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	①廃棄物の減量化 生鮮食品のトレイ減量化（重量を約10%軽減化の取組実施中） ②製品出荷時の配送の効率化 配送センターより店舗への配送便数の削減
第1年度	①廃棄物の減量化 CO2排出量を月間5トン以上の削減 ②製品出荷時の配送の効率化 第1年度のCO2排出量は6927.7トンで目標7000トンを達成できた。
第2年度	・食品リサイクルループの認可（2014年12月）を取得。食品リサイクル率は60%を達成できました。今後も発生抑制に努めると共に再生実施率を向上させて、廃棄物の減量化を推進していく。
第3年度	①廃棄物の減量化 ・廃棄物の分別処理の徹底により、食品リサイクル率の向上（64%に向上）とリサイクル資源としてのトレイの店頭回収量が平成25年度68t回収にたいして、平成27年度は126tの回収となり、対比で185%に増加。 ②製品出荷時の配送の効率化 ・納品戻り便を活用した事業として、新規出店店舗をはじめ社内60店舗に「ペットボトル自動回収機」を設置することにより、回収で、年間363tのCO2削減効果があった。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	①マイバッグ持参運動の推進 ②マイ箸運動の推進 ③公共交通機関利用の促進
第1年度	①マイバッグ持参運動を環境月間を通して実施し、レジ袋削減率は40%を超えました。 ②昼食時の割り箸はもらわず、マイ箸持参が浸透してきました。 ③従業員の通勤は極力公共機関を利用することと、本社従業員は毎週木曜日はノー残業デーで、定時での勤務時間を促進した。
第2年度	①レジ袋の持参率は40%を維持しております。 ②10月の3R環境月間にて、バラ販売の強化とマイ箸運動を実施。 ③引き続き公共機関の利用促進と、残業削減を促進していく。
第3年度	①レジ袋の持参率は41.4%と微増しております。 ②マイ箸持参はお客様への配布基準の徹底と従業員によるマイ箸持参が浸透した。 ③引き続き公共機関の利用促進と、ライフバランスの見直しによって残業削減を推進中。④6月の環境月間にて、可燃ごみの削減のため、分別処理を徹底することにより、資源としての古紙やボール紙回収運動を実施し古紙で前年比119.4%回収、段ボールで前年比102.4%回収できた。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,801	t-CO ₂
(調)	5,696	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	1
300~400k _l 未満	4
200~300k _l 未満	4
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	1

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--